

郷土の偉人・大島有隣  
— 石門心学入門 ② —

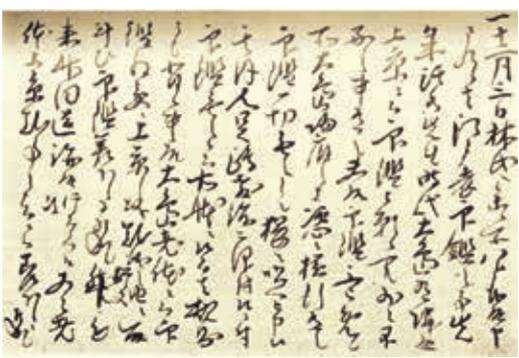
手島堵庵の子である和庵が寛政三年（一七九一）十月に没すると、その後をうけて明倫舎第三世舎主となったのが上河淇水でした。それ以降、淇水は、文化十四年（一八一七）に没するまで、門弟の養成と、全国の心学講舎の統制に力を注ぎ、京都心学界に君臨しました。

文化九年頃のこと。有隣は、大名等に招かれ中国地方に心学教化活動に向かう傍ら、京都の淇水を訪ね三舎印鑑（許可状申請）を願いました。しかし、淇水は、有隣への三舎印鑑を拒否しました。この後、二人は断絶し、有隣は、京都心学の統制から離れ、関東心学自立の道を選びます。後年の京都心学界史料である『舎用留書』（柴田遊翁筆）には、つぎのような記載がみられます。

〔前略〕 先年淇水先生時代、大島有隣殿上京に而印鑑被願候へ共、少々不好之事有之、夫故印鑑不免候処、大島帰府之上、恣に横行有之、印鑑一切無之して猥りに唱へ被申候（後略）

自立の道を選んだ有隣を批判しているのがわかります。

ところで、淇水の心学教化理念の基礎は、儒教哲学、特に朱子学にありました。それに対し、儒教・仏教・神道の三つを広く取り入れようとしたのが関東心学でした。特に大島有隣は心学教化理念は、神道色が濃く感じられます。逆にいえば、それが有隣心学の特徴ともいえます。同じ石門心学とはいえ、こうした教義理念の中心部分の違いが、京都心学と関東心学との溝を深くしていったことは否定出来ません。（つづく）



『舎用留書』（柴田遊翁筆）

（社会教育課 町史・文化財担当編）

みんなでつくる 愛される図書館 ⑨

問合せ 町立図書館 ☎ (33) 4056

障がい者サービス

障がい等の理由で、通常の図書資料での読書に困難のある方のために、次のような資料の提供を行っています。

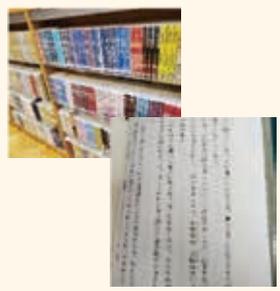
①点字図書

点字サークル「杉」さんの作成した点字図書になります。現在、202タイトルを所蔵しています。



②大活字本

視力が弱い人に対応するために、通常よりも大きな文字や判型を用いた本です。文字が大きくなっているため、小さい文字は苦手という人も読みやすくなっています。



③オーディオブック

別名「CDブック」。書籍を朗読したものを録音した音声コンテンツで「聴く本」とも呼ばれており、ナレーターや声優が本を朗読したものです。また、音訳ボランティア「あいうえお」さんによる広報すぎと音訳CD版も窓口にて配架しています。



④電子図書

貸出・返却等で図書館等に行く必要がなく、いつでも好きな時に借りたり読んだりできます。また、電子図書には読み上げ機能や拡大機能がついています。（一部機能がないものもあり）

上記の図書資料以外にも朗読サービス（要予約）等も行っていきます。その他のサービスについてもどうぞお気軽にご相談ください。



ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。



杉戸町ホームページ



メール配信 すぎめー



広報スマホ版 マチイロ



杉戸町公式LINE